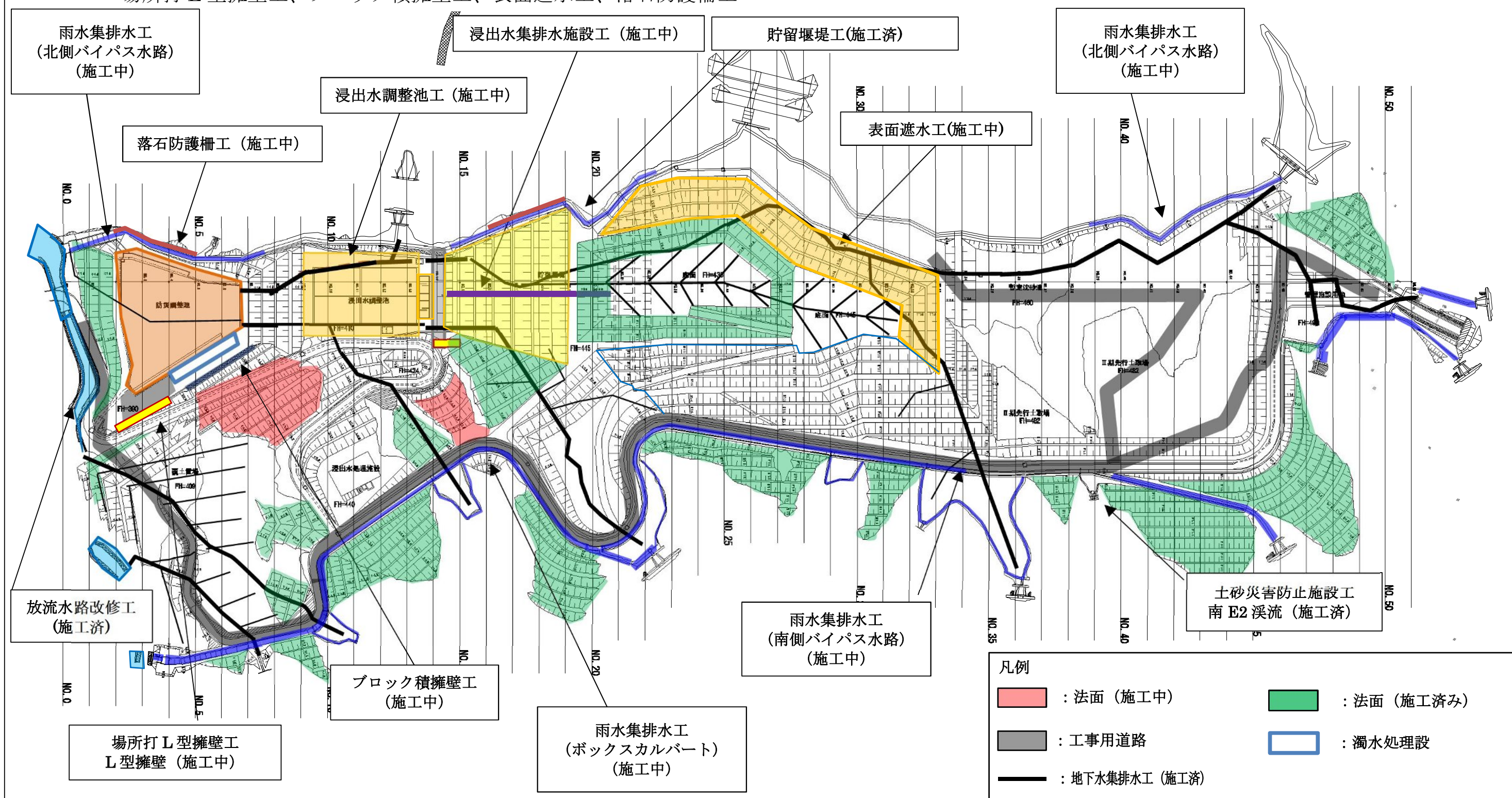


恵下埋立地（仮称）建設工事の施工状況について

作業状況

工事着手から現在まで以下の作業を実施しています。（令和 3 年 2 月現在）

作業内容：仮設工（工事用道路工、濁水処理施設等）、切盛法面工、地下水集排水工、貯留堰堤工、浸出水調整池工、造成工、雨水集排水工、放流水路改修工、防災調整池工、土砂災害防止施設工、モニタリングピット工、鉛直遮水工、浸出水処理施設擁壁工、浸出水集排水施設工、場所打 L 型擁壁工、ブロック積擁壁工、表面遮水工、落石防護柵工



作業状況（令和3年2月現在）

【資料2-2】

造成工

① 南東側場内道路



② 埋立地区域



雨水集排水工

③ ボックスカルバート

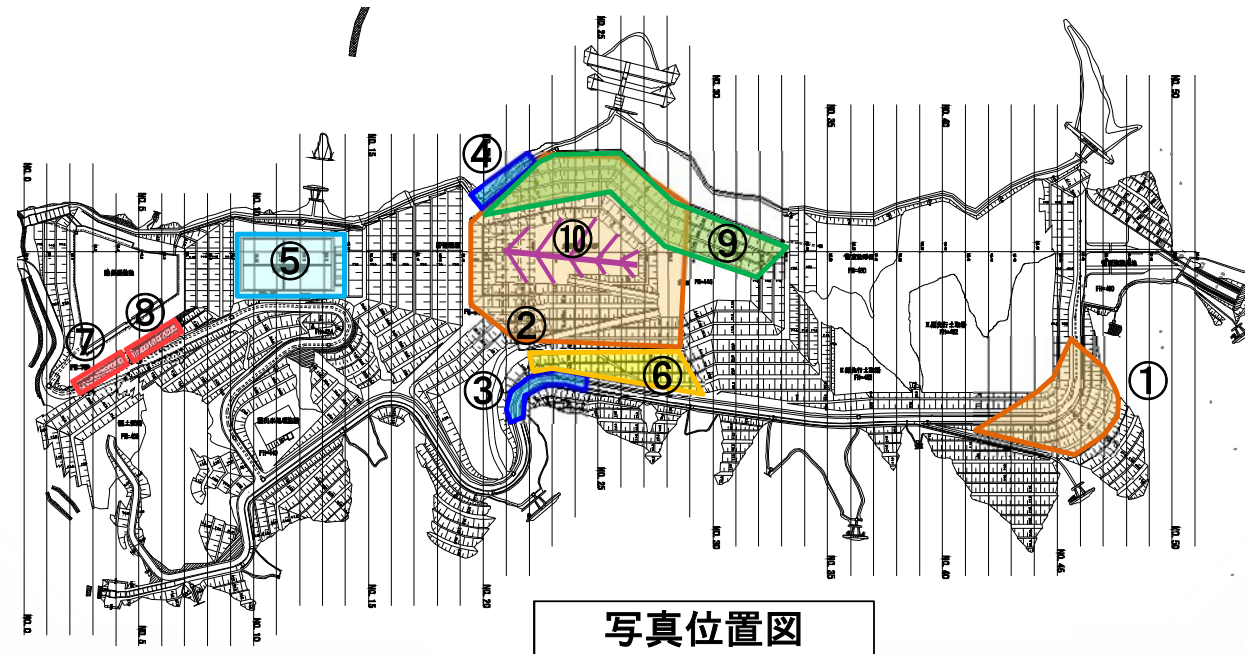


④ 北側バイパス水路



浸出水調整池工

⑤ 浸出水調整池全景



法面工

⑥ 植生基材吹付



擁壁工

⑦ 現場打L型擁壁



⑧ ブロック積擁壁



表面遮水工

⑨ 遮水シート



地下水集排水工

⑩ 埋立地底盤部



恵下埋立地（仮称）浸出水処理施設等建設工事の進捗状況について

【作業内容】

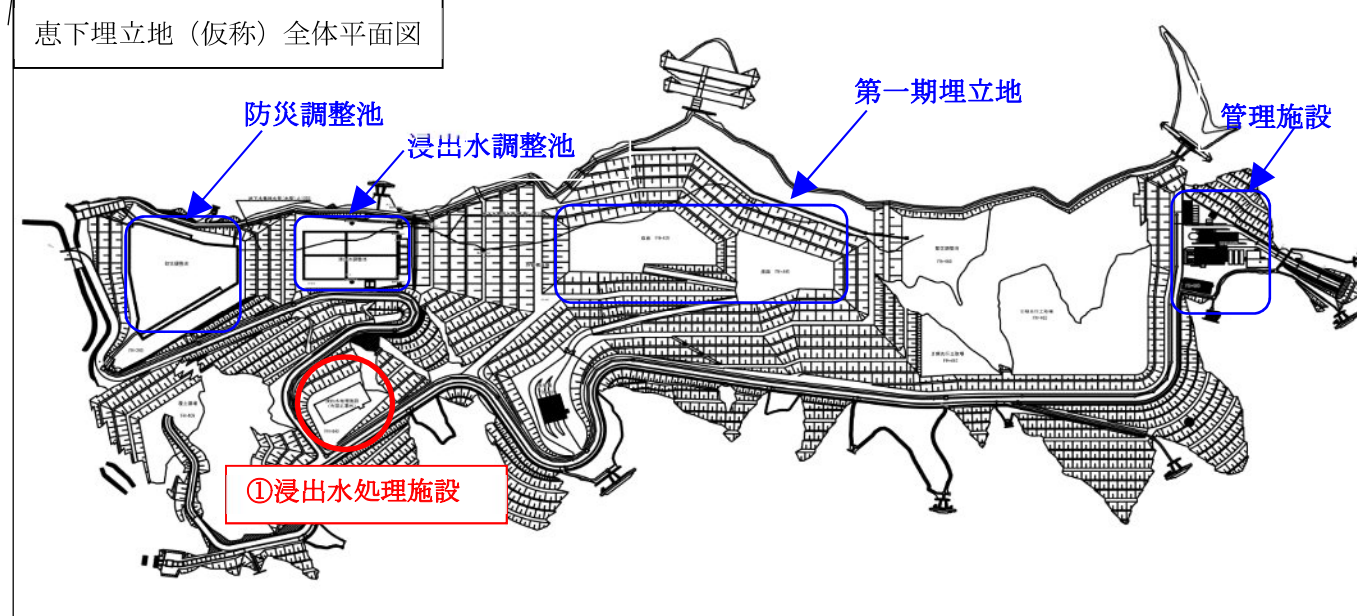
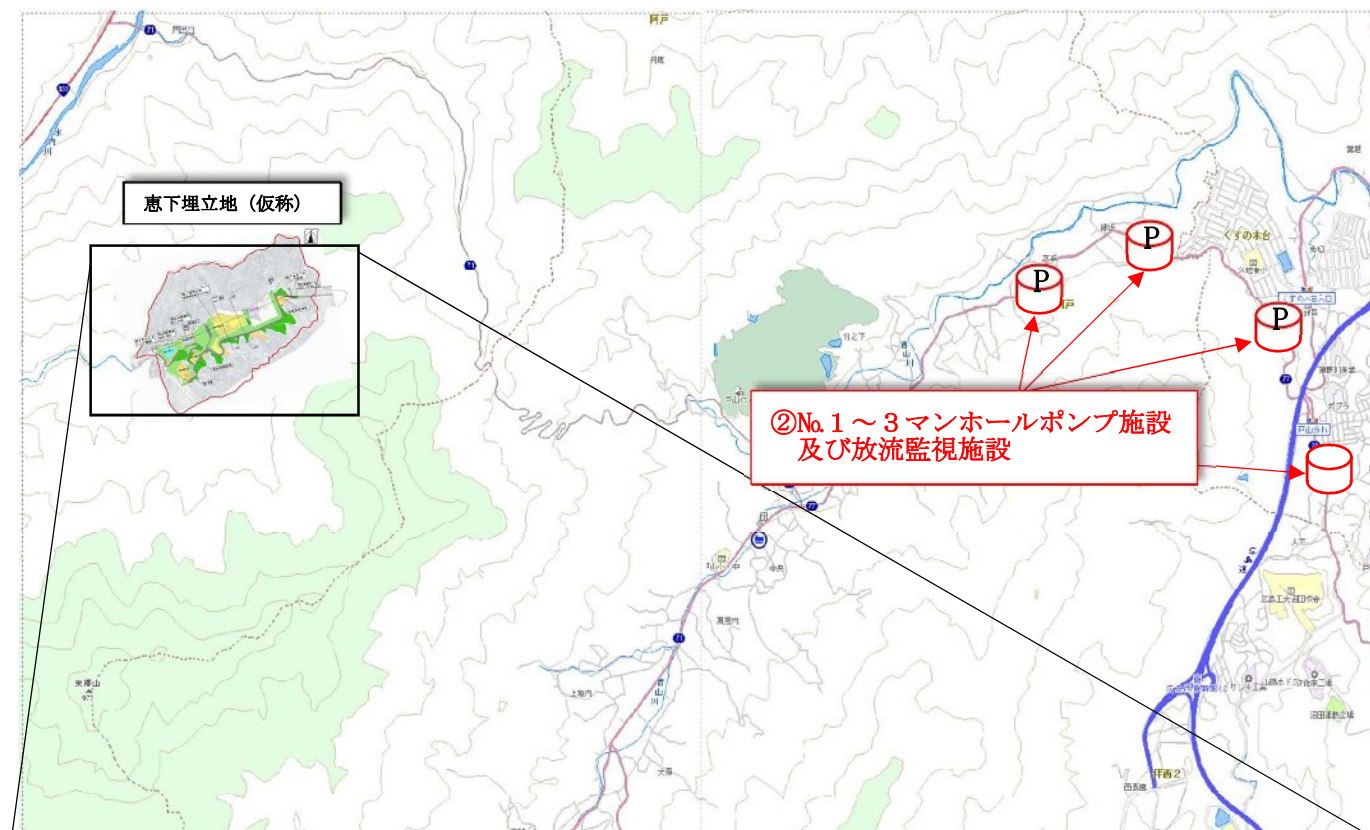
浸出水処理施設については、建築工事を実施しており、現在3階部分の施工を実施しています。

① 浸出水処理施設

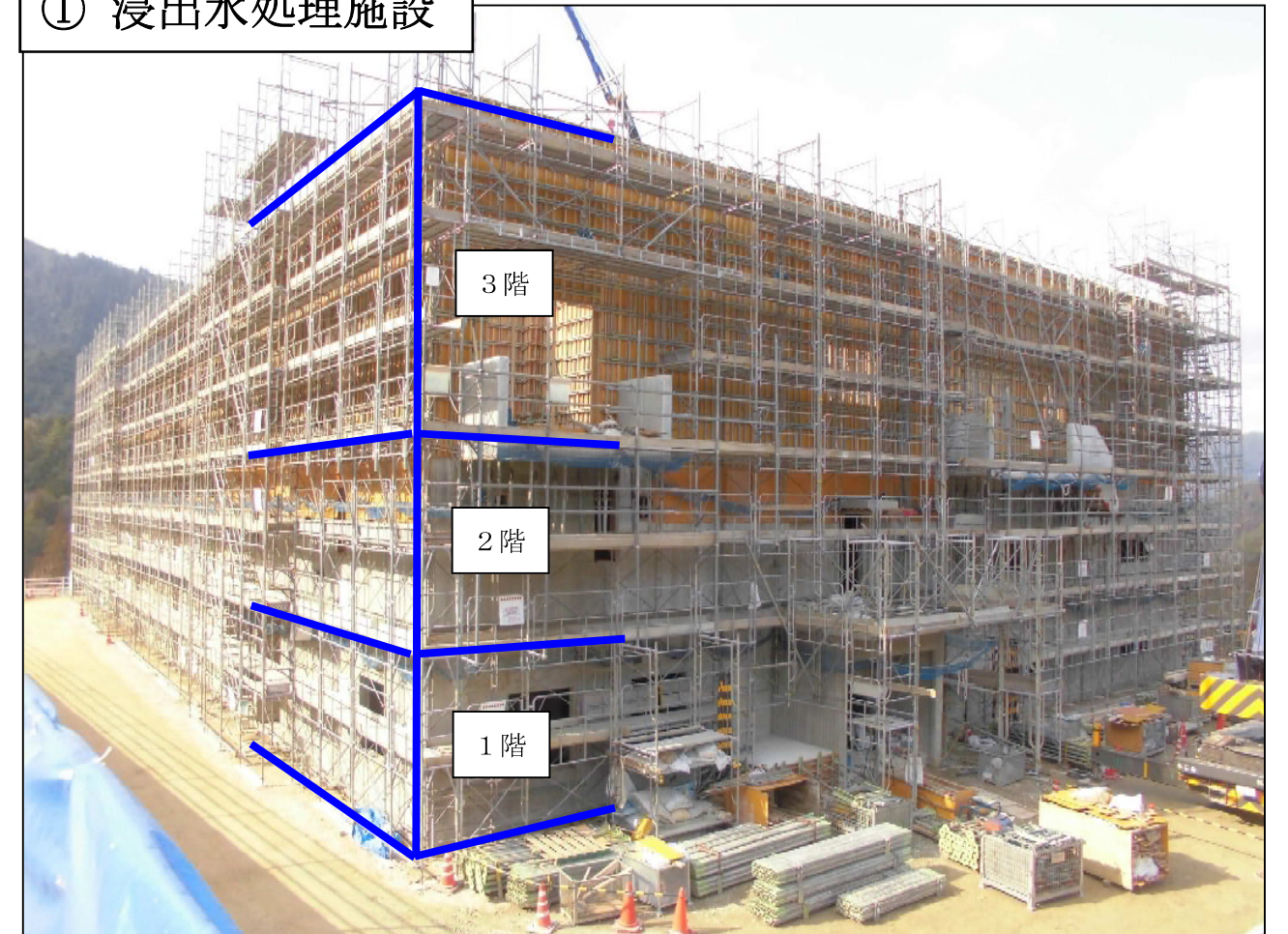
建築工事…鉄筋工事、型枠工事、コンクリート打設工事
（2階部分まで完了。現在3階部分の施工中）

② マンホールポンプ施設

引込柱工事、ハンドホール設置工事、埋設管工事



① 浸出水処理施設



② マンホールポンプ施設

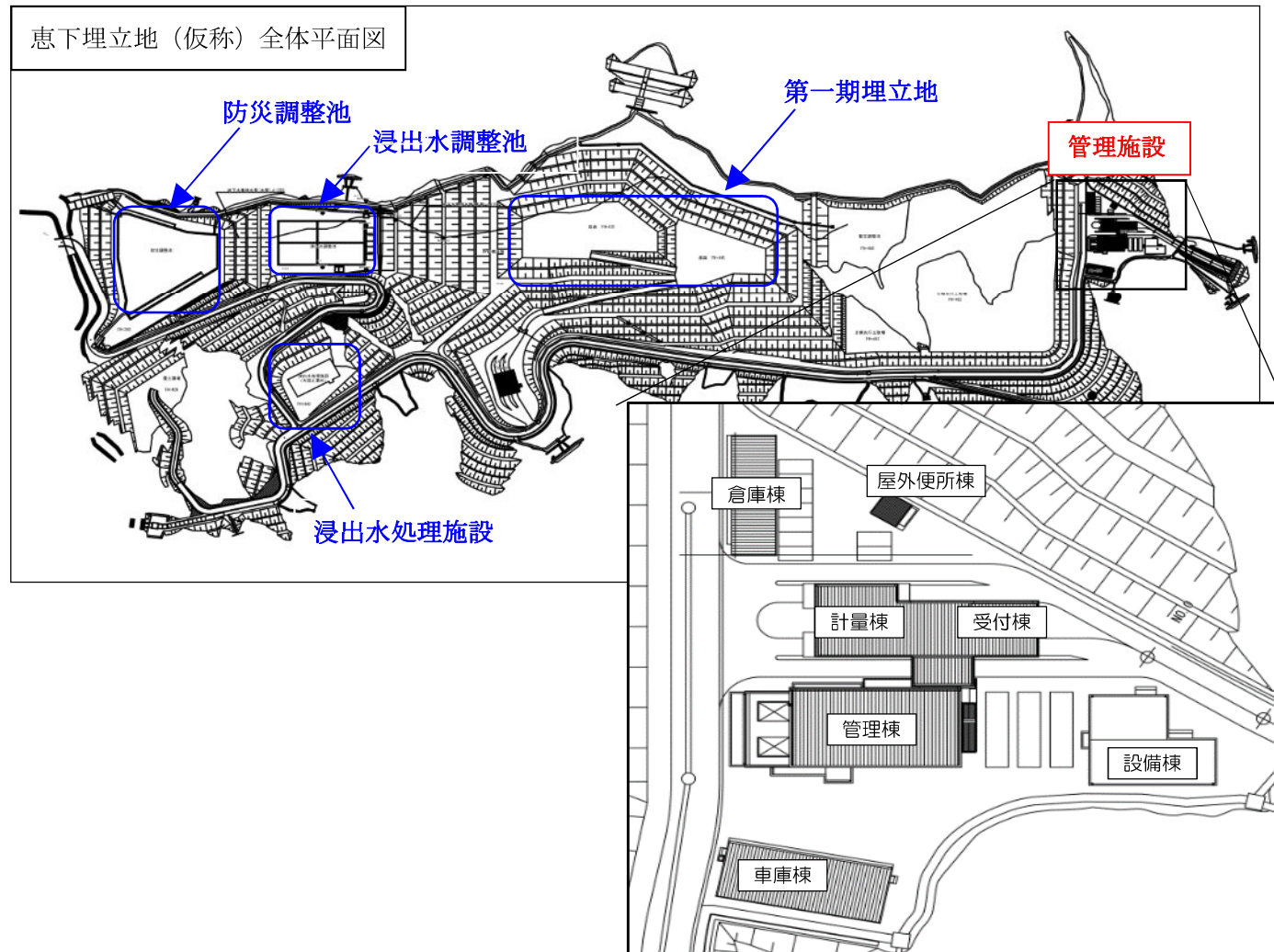


恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築工事の進捗状況について

1 概要

埋立地を管理するために必要となる管理施設（管理棟、設備棟、受付棟・計量棟、車庫棟、倉庫棟、屋外便所棟）の建設を進めています。

- (1) 工 事 名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築工事
工 期：令和2年8月11日～令和4年3月10日
請負業者：㈱新枝建設
作業内容：管理棟、設備棟、受付棟、計量棟、車庫棟、倉庫棟、屋外便所棟の建築工事
（地盤改良工事、配筋工事、鉄骨工事、基礎コンクリート工事、外壁工事、屋根工事）
- (2) 工 事 名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築電気設備工事
工 期：令和2年8月4日～令和4年3月10日
請負業者：㈱高野電気商会
作業内容：建築工事に伴う電気設備工事（埋設配管工事、スリーブ・インサート工事）
- (3) 工 事 名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築衛生・冷暖房設備工事
工 期：令和2年8月19日～令和4年3月10日
請負業者：㈱高原設備工務店
作業内容：建築工事に伴う衛生・冷暖房設備工事
（埋設配管工事、ピット配管工事、スリーブ・インサート工事）
- (4) 工 事 名：恵下埋立地（仮称）管理棟その他新築自家発電設備工事
工 期：令和3年2月22日～令和4年3月10日
請負業者：㈱高野電気商会
工事概要：埋立地の自家発電設備及びマンホールポンプ設備の自家発電設備設置工事（機器製作中）



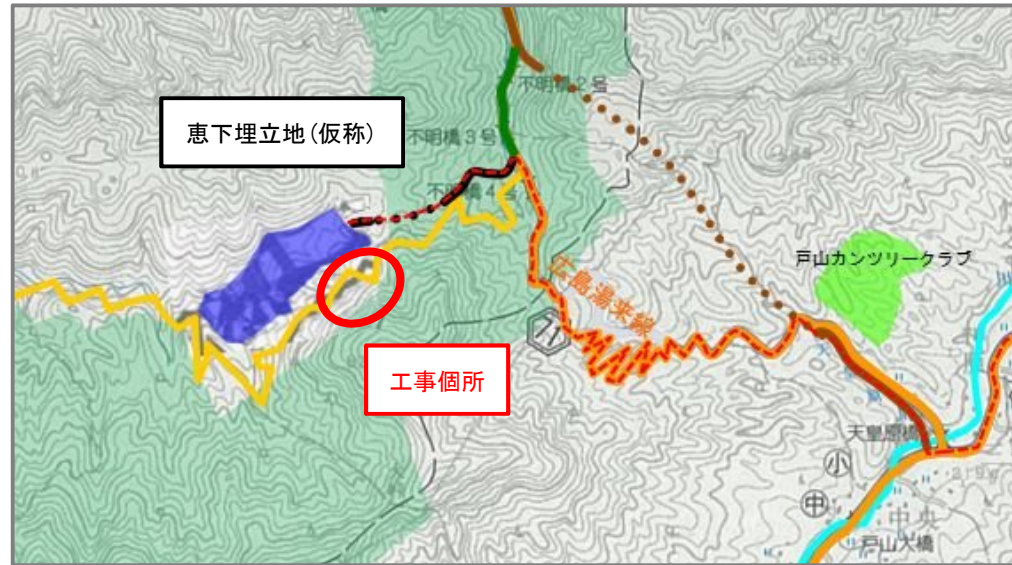
恵下埋立地(仮称)南側斜面土砂流出防止工事について

【工事概要】

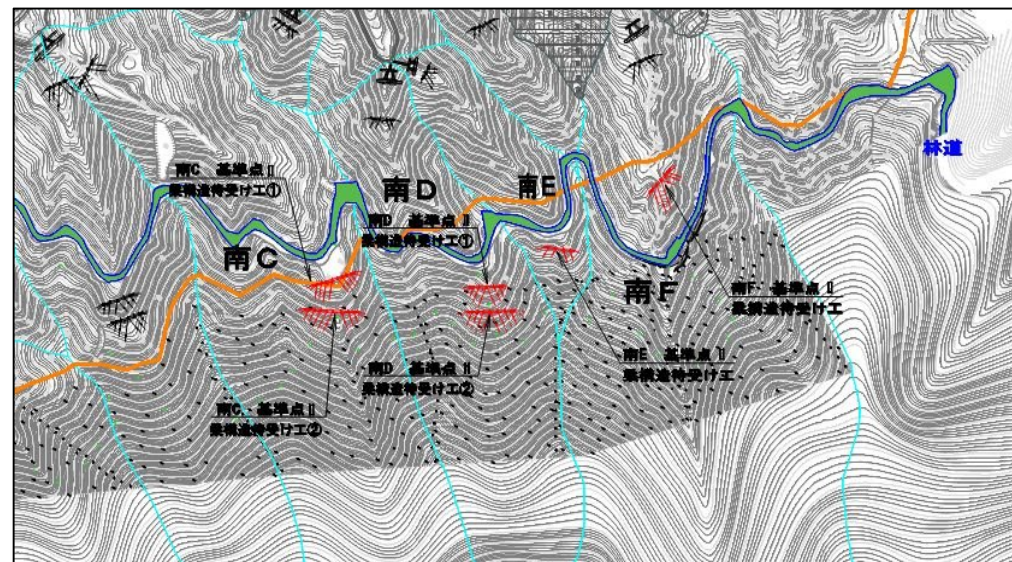
本工事は、恵下埋立地（仮称）の南側斜面からの土砂流出を防ぐ工事です。
埋立地の南側斜面に土石流等が発生した際、埋立地への土砂流入を防ぐために柔構造待受け工（インパクトバリア工法）を6基設置する。

- ① 工 事 名：恵下埋立地（仮称）南側斜面土砂流出防止工事（2－1）
- ② 工 期：令和2年12月9日～令和3年11月4日
- ③ 請負業者：株式会社 田村建設

【位置図】



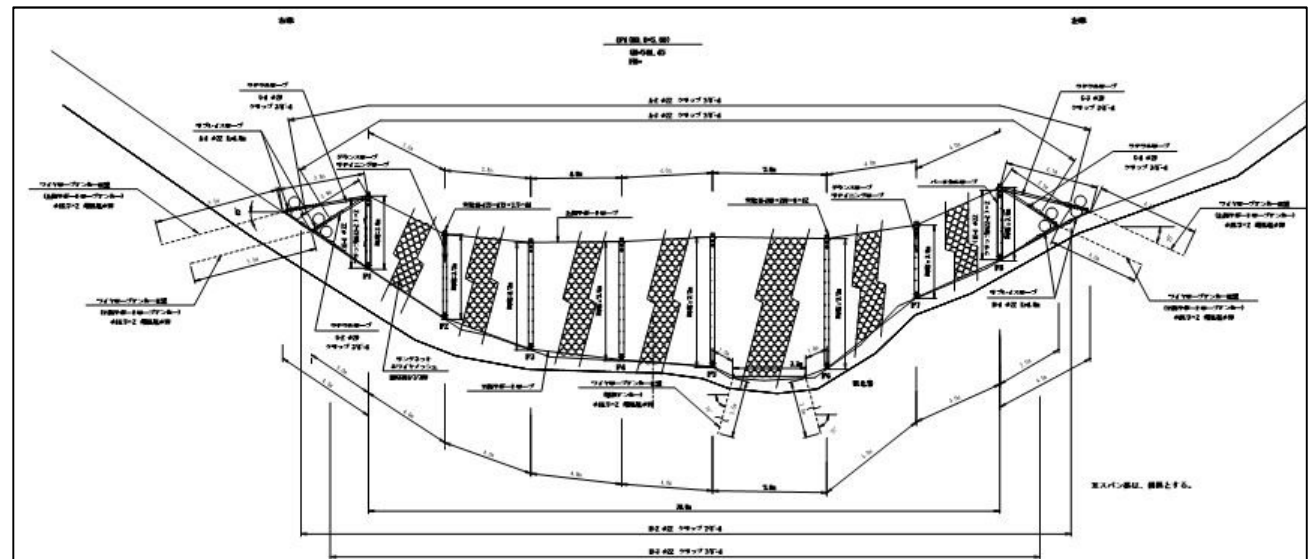
【詳細箇所】



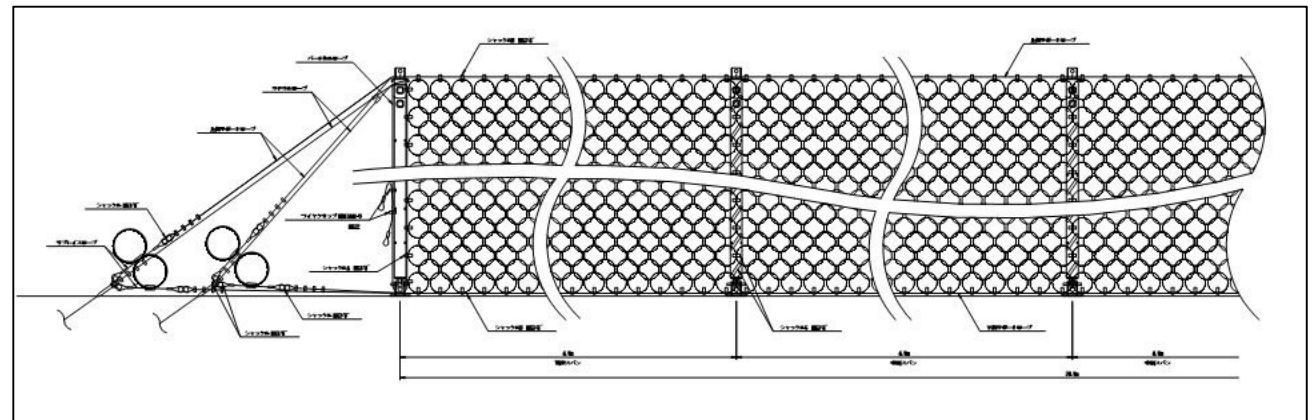
【インパクトバリア イメージ図】



【展開図】



【詳細図】



工事着手から現在まで以下の作業を実施しています。（令和3年2月末 進捗率約96%）

着手工種：盛土工、法面工、函渠工（1号・2号、アーカバート）、擁壁工（補強土壁、重力式擁壁、大型かご枠工、ブロック積擁壁等）、橋りょう工



取付道路工

恵下埋立地へとつながる取付道路の施工を進めており、護岸工、コンクリート製品のパネルを使用した盛土まで完了しました。引き続き、舗装を行っていきます。



盛土工

本線道路の盛土が完了し、舗装を行っていきます。盛土法面へは、種子吹付を施工し、法面の安定化と緑化を図ります。



のりめん
法面工

終点部の6段ある法面の掘削作業、法面を補強する鉄筋挿入、植生工による法面保護作業が完了しました。引き続き、周辺の排水構造物の設置を行っていきます。



1号函渠工

函渠工の据付後、コンクリート製品のパネルの設置、道路の盛土が完了しました。引き続き、周辺の護岸整備を行っていきます。



2号函渠工



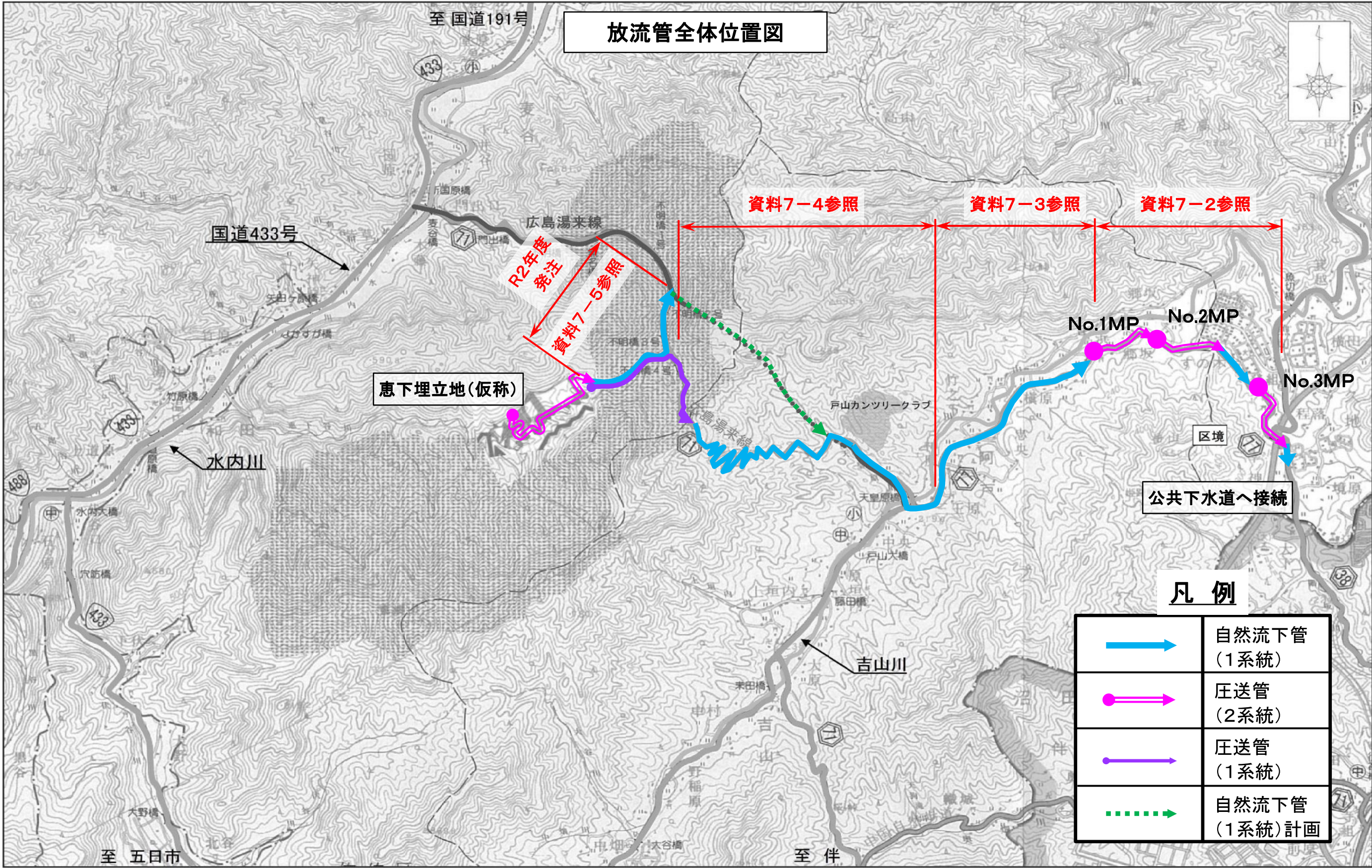
3号橋 上部工

橋りょう上部の舗装(凍結抑制舗装)を行いました。



1号橋 上部工

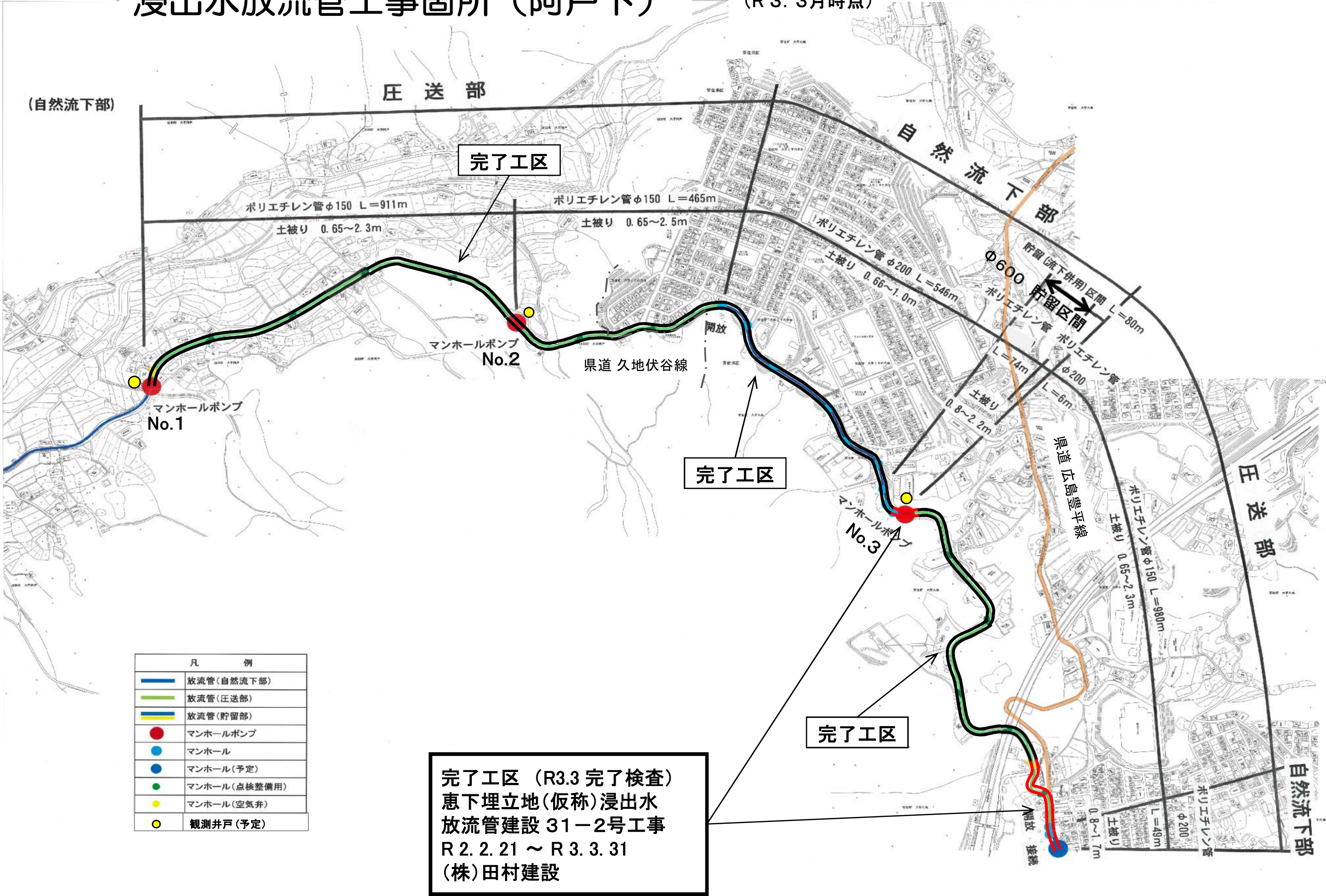
トンネル坑口付近



浸出水放流管工事箇所（阿戸下）

(R 3. 3月時点)

【資料7-2】

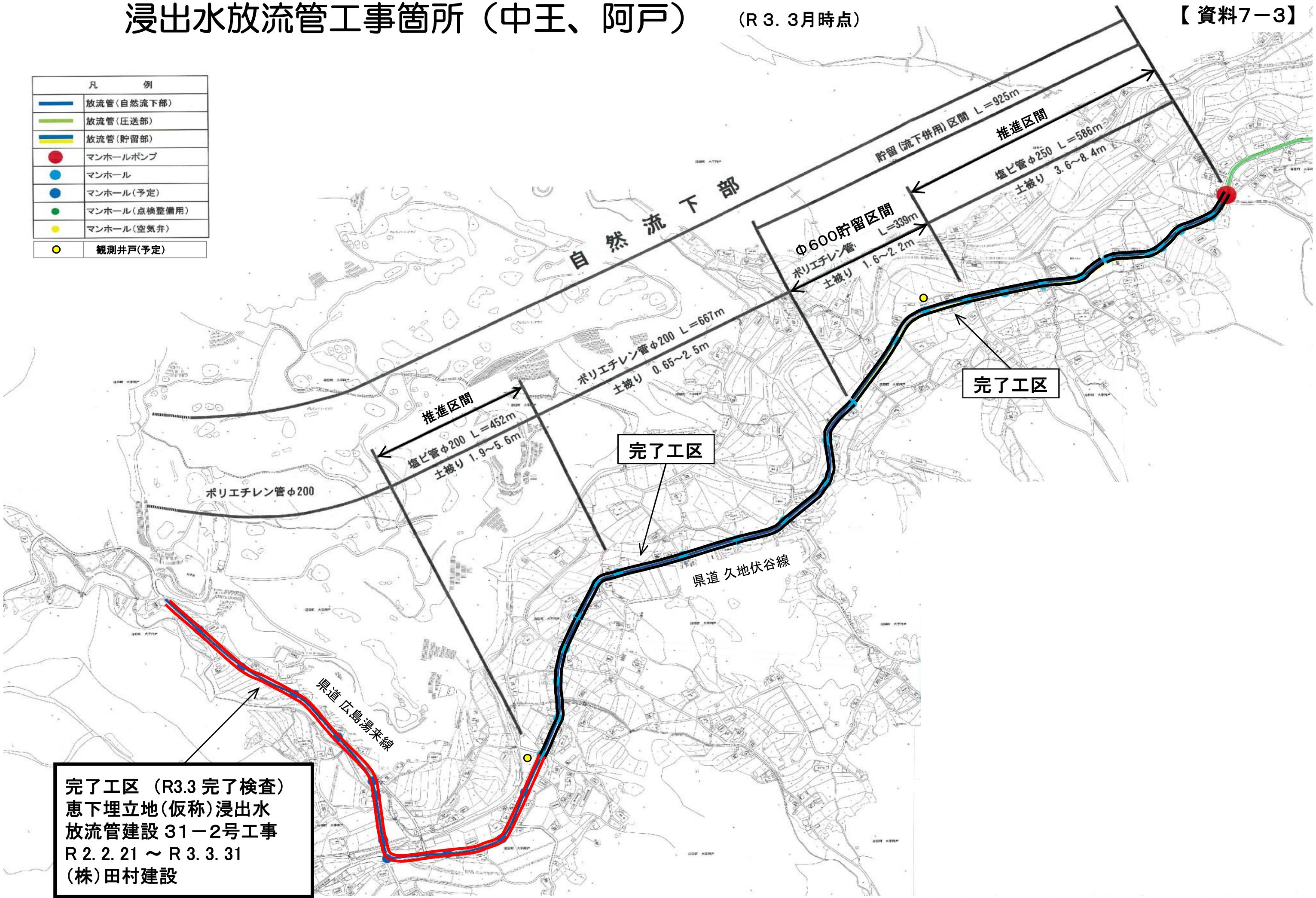


浸出水放流管工事箇所（中王、阿戸）

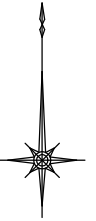
(R 3. 3月時点)

【資料7-3】

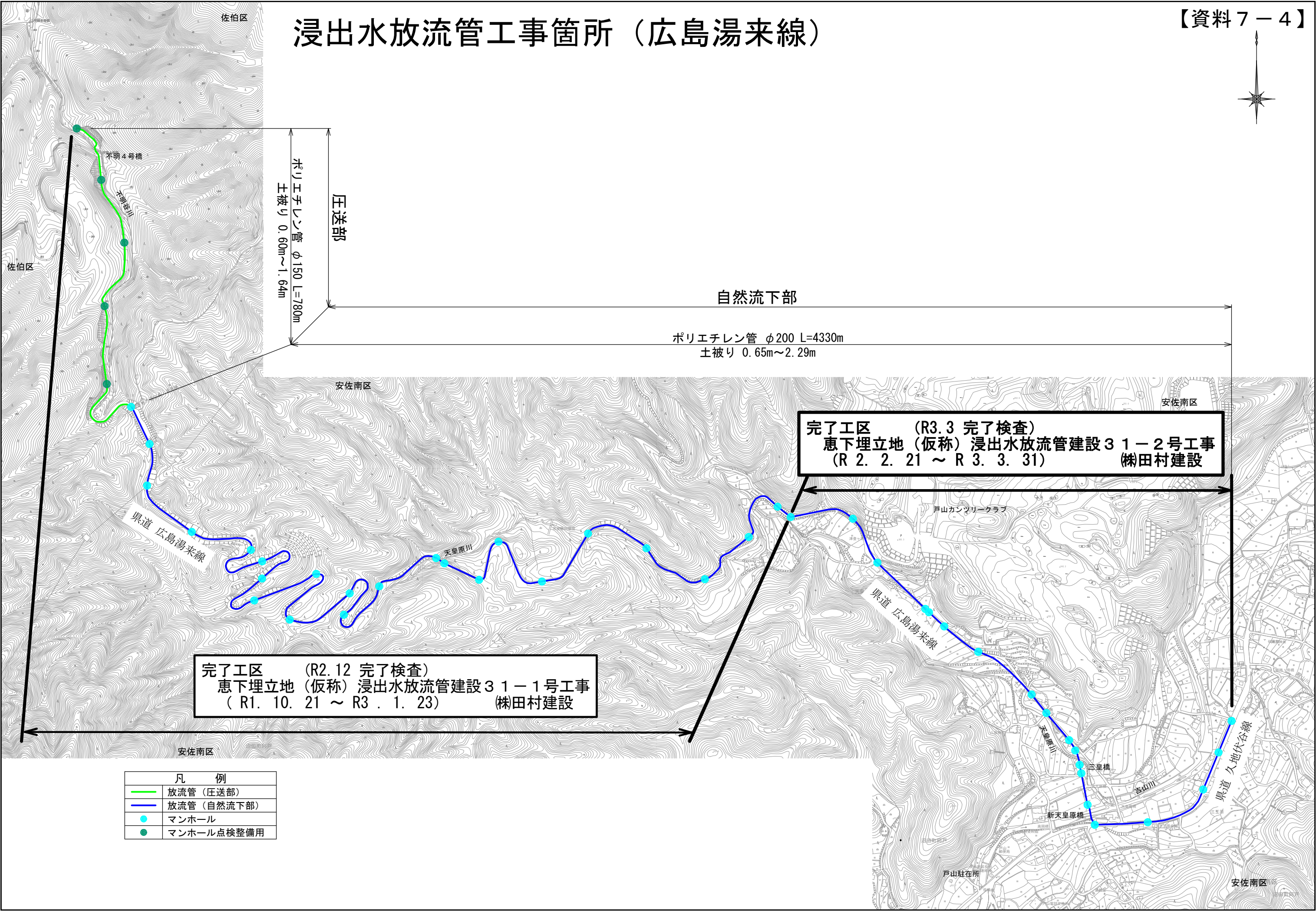
凡 例	
	放流管(自然流下部)
	放流管(圧送部)
	放流管(貯留部)
	マンホールポンプ
	マンホール
	マンホール(予定)
	マンホール(点検整備用)
	マンホール(空気弁)
	観測井戸(予定)



完了工区 (R3.3 完了検査)
恵下埋立地(仮称)浸出水
放流管建設 31-2号工事
R 2. 2. 21 ~ R 3. 3. 31
(株)田村建設



浸出水放流管工事箇所（広島湯来線）

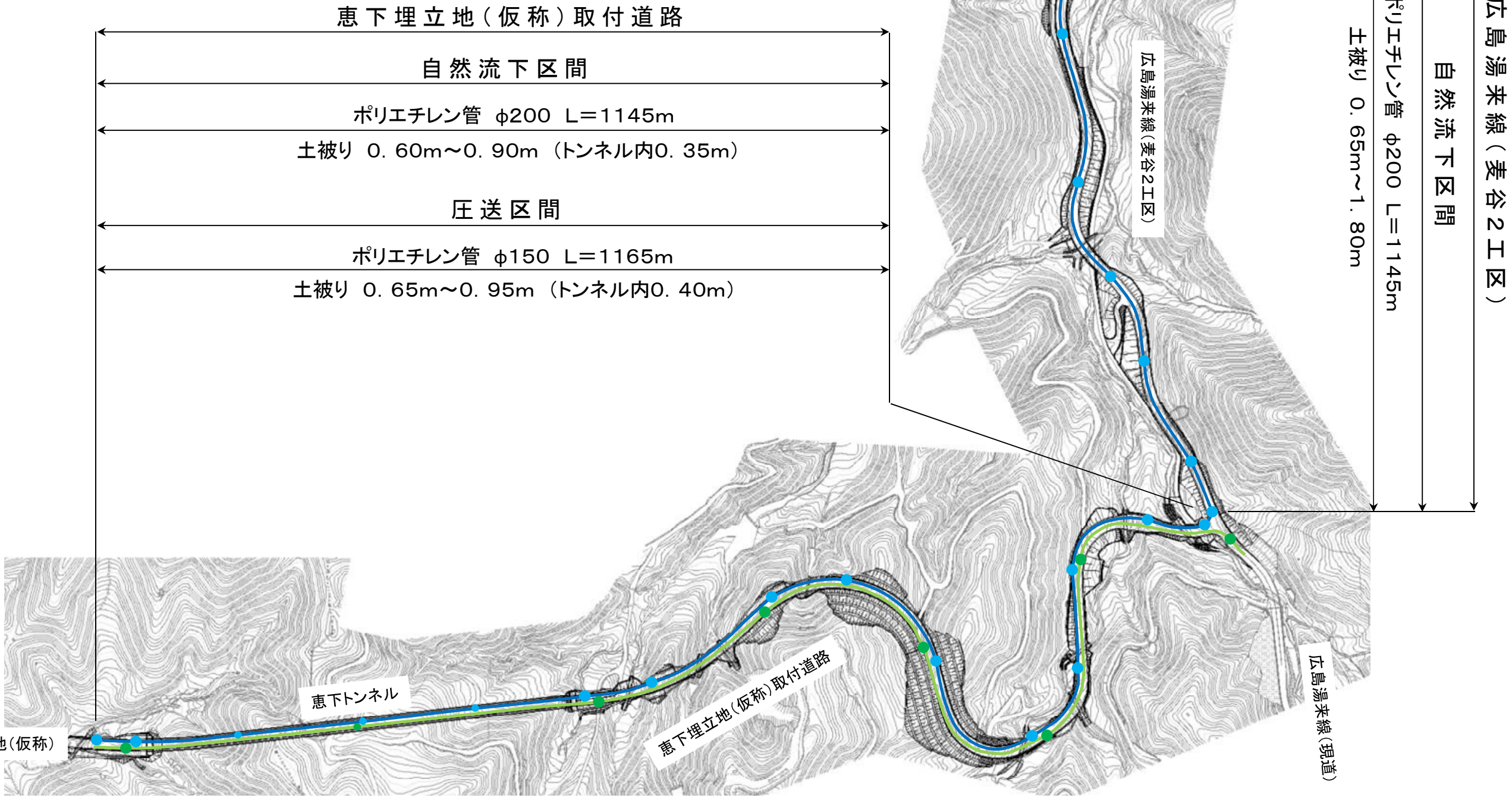


浸出水放流管工事箇所

〔 恵下埋立地（仮称）取付道路 〕
〔 広島湯来線（麦谷2工区） 〕

凡 例	
	放流管（圧送部）
	放流管（自然流下部）
	マンホール
	マンホール点検整備用

恵下埋立地（仮称）浸出水
放流管建設2-1号工事
R2.12.2～R3.9.8
㈱田村建設



戸山地区の環境調査について（令和２年度調査結果）

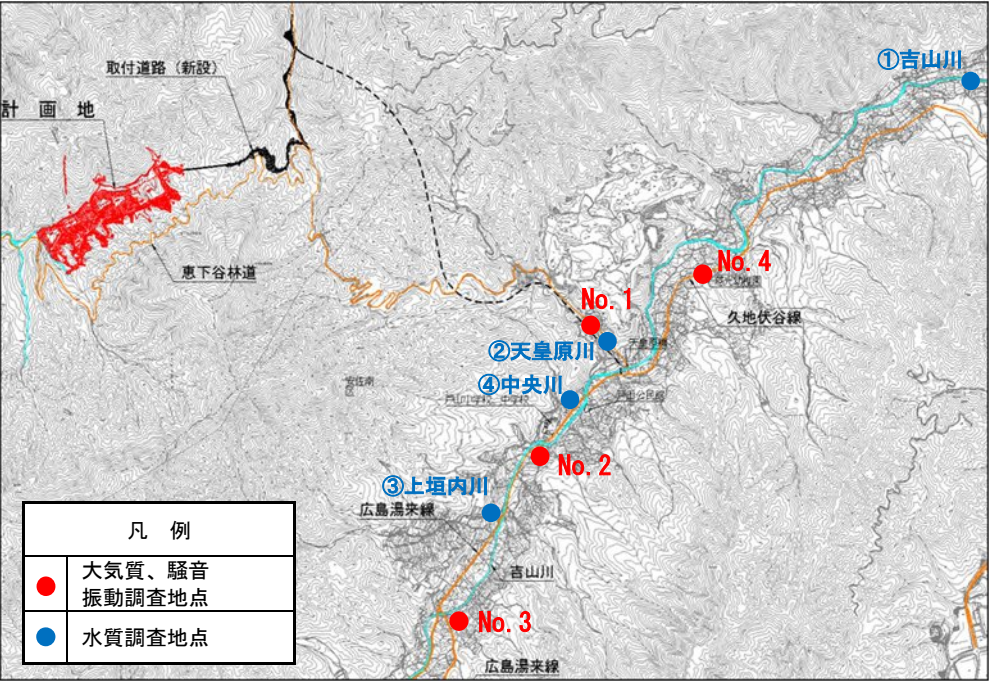
戸山地区の環境調査を、下表のとおり行いました。

水質調査結果で、大腸菌群数が基準値を超えましたが、その他の項目は基準値以下でした。

大気質及び騒音・振動調査の結果は、すべて基準値以下でした。

	調査項目	調査地点及び頻度
大気質	大気汚染に係る環境基準項目（５項目）	No. 1 1 地点 7 日間連続測定 1 回/年
	非メタン炭化水素	
	微小粒子状物質（PM2.5）	
騒音	道路交通騒音	No. 1 ～No. 4 4 地点 24時間連続測定 1 回/年
振動	道路交通振動	
水質	生活環境項目（５項目）	吉山川、天皇原川 上垣内川、中央川
	健康項目（27項目）	
	塩化物イオン	
	電気伝導率	
	ダイオキシン類	

調査地点図



【大気質調査結果】

調 査 地 点		No. 1	環境基準
調 査 日		R2.12.11 ～12.17	
二酸化硫黄(SO ₂) (ppm)	日平均の最大値	0.001	0.04以下
	1時間値の最大値	0.002	0.1以下
一酸化炭素(CO) (ppm)	日平均の最大値	0.3	10以下
	8時間平均値 の最大値	0.3	20以下
浮遊粒子状物質(SPM) (mg/m ³)	日平均の最大値	0.019	0.10以下
	1時間値の最大値	0.032	0.20以下
二酸化窒素(NO ₂) (ppm)	日平均の最大値	0.004	0.04～0.06以下
光化学オキシダント(0x) (ppm)	昼間の1時間最大値 (5時～20時)	0.048	0.06以下
非メタン炭化水素(NMHC) (ppmC)	3時間平均の最大値 (6時～9時)	0.07	0.20～0.31 (指針値)
微小粒子状物質(PM2.5) (μg/m ³)	日平均の最大値	18	35以下

【騒音調査結果】

調査日時：令和3年1月19日15:00～1月20日15:00

時間区分	等価騒音レベル (L _{Aeq})				環境基準 (単位：dB)
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	
昼 間 (6時～22時)	56	63	62	63	70
夜 間 (22時～6時)	43	54	54	54	65

注) 環境基準は「幹線交通を担う道路に近接する空間」の基準値である。

【振動調査結果】

調査日時：令和3年1月19日15:00～1月20日15:00

時間区分	振動レベル (80%レンジの上端値：L _{V10})				道路交通振動の限度 (第一種区域) (単位：dB)
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	
昼 間 (7時～19時)	26	38	37	33	65
夜 間 (19時～7時)	25未満	27	26	25	60

注) 定量下限値は25dBである。

【水質調査結果】

地 点 項 目		① 吉山川	② 天皇原川	③ 上垣内川	④ 中央川	定量 下限値	環境基準値 河川A類型
観測項目	調査日	令和2年10月29日				—	—
	調査時刻	9:30	10:15	11:30	10:45	—	—
	天候	晴	晴	晴	晴	—	—
	気温	(℃)	16.3	16.2	17.3	16.6	—
	水温	(℃)	13.8	14.1	15.4	14.0	—
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	(—)	7.5	7.3	7.4	7.3	—
	生物学的酸素要求量(BOD)	(mg/L)	0.7	0.6	ND	ND	0.5
	溶存酸素量 (DO)	(mg/L)	10	10	10	10	0.5
	浮遊物質 (SS)	(mg/L)	ND	ND	ND	4	1
	大腸菌群数	(MPN/100mL)	2,400	2,400	3,300	3,300	1.8
健康項目	カドミウム	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0003
	全シアン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.1
	鉛	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001
	六価クロム	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.005
	砒素	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001
	総水銀	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005
	アルキル水銀	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005
	P C B	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.002
	四塩化炭素	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.002
	シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0006
	トリクロロエチレン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001
	テトラクロロエチレン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0002
	チウラム	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0006
	シマジン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.0003
	チオベンカルブ	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.002
	ベンゼン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001
	セレン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.001
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/L)	0.45	0.20	0.44	0.09	0.01
	ふっ素	(mg/L)	0.08	0.11	0.10	ND	0.08
	ほう素	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.01
	1,4-ジオキサン	(mg/L)	ND	ND	ND	ND	0.005
塩化物イオン		(mg/L)	3.8	3.7	3.7	3.1	0.05
電気伝導率		(mS/m)	7.3	5.8	6.7	4.7	—
ダイオキシン類		(pg-TEQ/L)	0.033	0.023	0.036	0.16	—

注) NDは、定量下限値未満

※ 1 水道水質基準

※ 2 農業用水基準

凡例	
■	：基準値以下
■	：基準値を超過